

まこもろろ

きやっきやうふふ



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



いやあ
あれはほんと
参っちゃったよー

あはあー

ちこもこ
ぎゃぎゃうふふ

第5話 告白



——って事が
あつてさあ……



ほんとほんと
あれはびっくり
したね!

そ、そっか
それは大変
だったな……



僕は今色々
訳あつて……



……こんにちは
藤原です

ダンスに
しまわれています……

その理由は

ごめんね……

さかのぼると
十分前……

えっ

この部屋に輝夜を
入れたら!?

あの子

あー、うん
実はそうなんだ……

・妹紅は俺と一緒に
住んでる事を内緒にして
いたらしいからな

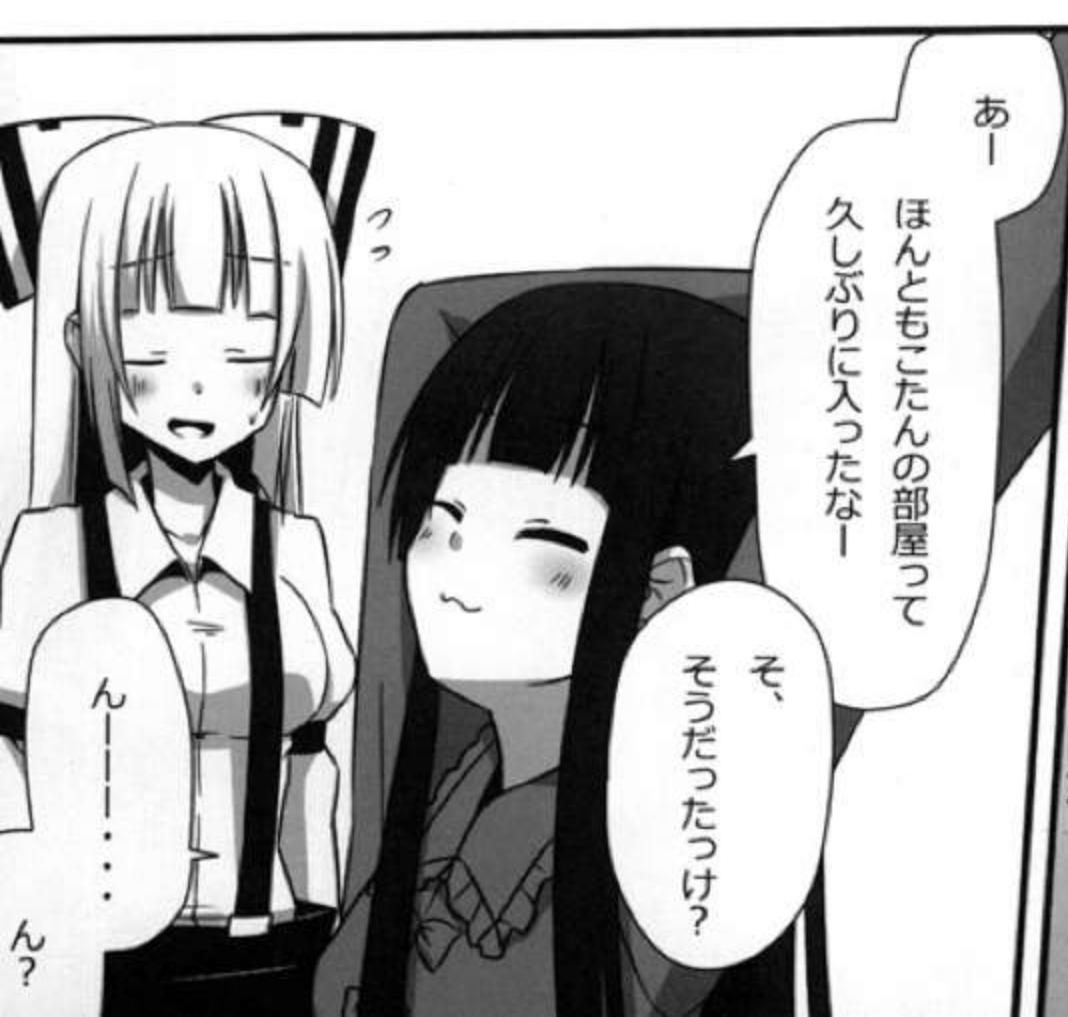
まあそういう
事なら……

ほんとごめんっ

輝夜つてば入りたいって
聞かなくてきー

終わったら
ちゃんと連絡するし
それまでちよつとの間
外出しててほしいんだ

ジュジュ



あれ……

なんか前来た時と
部屋の雰囲気変わってない？

そういえば



ふえっ!?

そそそんな事ないよっ!?

そうかなあ?

なんかにおいとかも
変わった気がするし……

ちうっ



っ!?

んんん
んんんん……



あ、そういえばさ
もこたん

……



ん?

もこたんはさ……
藤原君のこと
どう思ってるのかな?



ぬっ

ん……

はッ!?



い、いきなり
何言ってる……



しらばっくれても
無駄だよ?

藤原君の転入初日から
なんかおかしいとは思ってたんだ



海に行った時も
そう……

もこたんと藤原君と一緒に
行動するところを見ると
何かあるな、て思わせるような
空気みたいなのが出てくるのよ

それはきつと他の子たちも
感じてるハズ

好き合ってるか・・・
もこくんはすずこもじ
付き合ってるんじゃないのか
っていう空気がね

な、何言ってるのよ輝夜

私と藤原君は
何の関係もないんだってば

だったらもこたんに
許可もらう必要なんて
なかったんだね

.....

・・・ふーん
そかそか・・・

ほんとーに
何にもないんだね？

だから
そう言って・・・

そかそか

ねえもこたん・・・

私ね、実は・・・

藤原君とお付き合
したいと思ってるんだよね

.....
^?

えっ.....
.....え.....ッ!?

か、輝夜.....
いきなり何言って.....!?

何って失礼ね
私だって女の子なんだから
恋くらしするわよ

え・あ・でもっ・・・
なんで藤原君なんかを・・・

私たち親友だよな？
応援してくれないの？

人を好きになるのに
理由なんてないわ

で、でも・・・

・・・ねえ、もこたん

え？あ、うん・・・
親友、だよ・・・？

・・・親友ってさ

別にケンカしたっていい
嘘なんてつかずに本音で
ぶつからなきゃって思うの

だから私も・・・
今こうしてもこたんに
本音をぶつけてる

・・・もう一度
聞くけどさ

もし、もこたんが藤原君の事が
好きだったらケンカになるのかなって
そればかり考えてたけど・・・

良かった
話してみて

・・・あ・・・

藤原君とは本当に
何も無いみたいで・・・

もこたんは
私の恋・・・

応援……



本気……なのか……?
輝夜……

しゅんねる?

だって今までそんな素振り
少しも見せなかったし、それに
どうしてそんなにいきなり……



え、何で?
輝夜は藤原の事が好き?
冗談……だよな? 変な
冗談はやめてくれよ、輝夜

第一、藤原だぞ?
バカで不器用で変態で……
そんな男をどうして好きに
なるっていうんだ?



そりゃちよつとは優しいし
気は利くし頼りになるし
ぎゅっつと抱きしめてくれるけど……

輝夜は藤原が好き……
それってもしかして
告白しちゃったの?
え、なんで……?

輝夜が藤原を……



……もしかして
私、捨てられちゃうの……?

いやいや考えすぎだ

第一、藤原は私に「好きだ」って

言ってくれたんだ

あいつはそんなに軽い男じゃない



・・・でも、もし輝夜が

藤原に告白しちやったら・・・？

輝夜は私なんかよりずっと可愛いし

細かいし、家事は出来ないけど明るくて

元気で、それで・・・それで・・・

私・・・藤原とは何の関係もないって
言っちゃった・・・そこに藤原もいるのに

もしかして傷つけちゃった？
あ、謝ったら許してもらえるかな・・・
私の事嫌いになったりしないよな・・・？



それに、輝夜にも嘘をついた
親友だって言ってくれたのに・・・

え・・・あれ・・・
私・・・



——ツ！！





隠れる瞬間見てたつての！
バれてないとも思ったか！

あと念のために言っておくけど
あんたの事はどちらかと言うと
「嫌い」の部類に入るから！

こ、こええ！



・・・な、なんで
「俺と付き合いたい」なんて
嘘ついたんだ？

ちよつとカッと
しちゃったからかな♡

やっぱこええ！

ん？んん・・・
そうね・・・

・・・あと



もしたんに本当の事を
言ってもらいたかったから・・・かな

全部じゃなくてもいい
少しだけでも・・・

・・・タイミングが無かった
だけかもしれないぞ、本当は・・・

わかってる

結局のうんぬん・・・

あんたに嫉妬してた
だけなんだよ



私の方がもこたんと
付き合っても長いのに
あんたの方が信頼されてる

私の知らない笑顔だっ
てきつとあんたは知って
るだから、ムツとしたんだと思
う



.....
.....
.....

どうしてあんたに
マジ話しなきゃ
なんないのよ!



.....
正直に話してくれば
諦めもついたので.....



あー..
もこたんがいないのに
ここにいても仕方ない
じゃない



結局、私よりもこたんを
いじめただけみたいにな
ったじゃあない.....



.....
ん?





藤原君の事が好きなの！
藤原君と付き合ってるの！
藤原君とセックスしたのー！！



あ、え…
えと…

あ、それと
藤原君と一緒に
住んでるの！



あ、うん
そ、そっか…

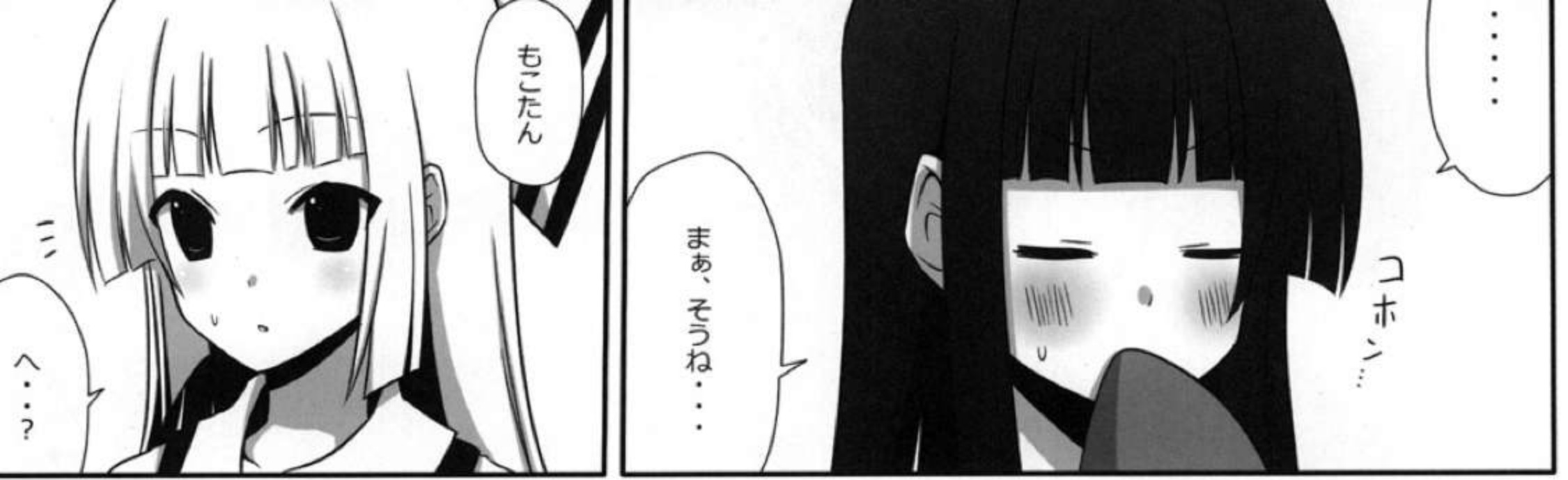
はっ

ん？

こっち見るな
この変態野郎！



どきどき



もしも「たん」を泣かせでもしてみろ
末代まで呪ってやるからな……

ミグト〜…

ママ、ママジの目だ……!!

し、心配するな
俺は本当に
妹紅の事を大事に思……

じゃね
バタ……!!
って聞けよ!

……
……ふう

……妹紅を泣かせたら
本当に許さないからな

……すい
おじさんの事が好きだった
これが叶う事のない恋
だって事も……わかってた

うる……
藤原……

はじめに。

この本を手にとってください、ありがとうございます。

初めましてー、お久しぶりです。名瀬です。

前書きじゃない位置にきちゃってますが、前書きです。

半年間続けた「もこもこきゃっきやうふふ」も今回で完結となります。

色々と迷走していたり白かったり、未熟な部分が多々出てますが、少しでも楽しんで頂けたのであれば、描き手としてこれ以上の喜びはありません。

2巻でびやびゅっと登場人物を増やしてみたのですが、3巻ではほとんどの方が出てきません。

妹紅のストーリーだけでページが埋まってしまいました。すみませぬ…。

この3巻は5, 6, 7話の3話収録です。1, 2巻がなくてもお楽しみ頂けるように、次のページにこれまでのあらすじをまとめておきます。読んで頂ければ幸いです。それでは続きをどうぞ！

名瀬

収録

03P 第5話 告白

21P 第6話 現実

37P 最終話 またこの場所から

登場人物紹介



蓬萊山輝夜

102号室の住人。妹紅の友達で度々101号室にやってくる。妹紅に特別な感情を抱いている？



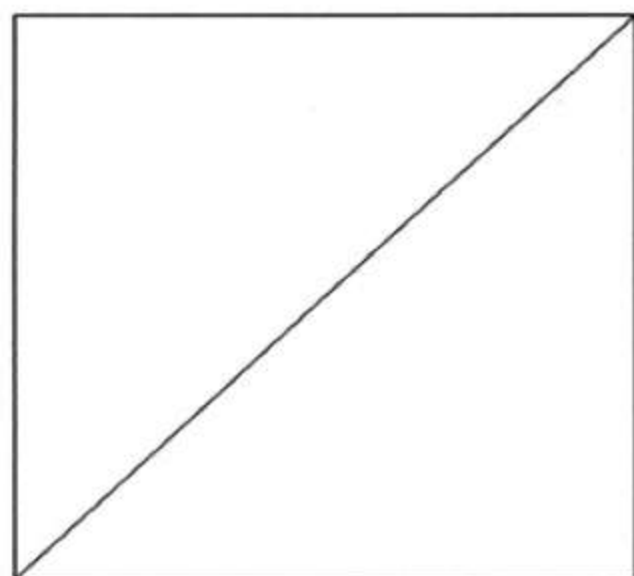
藤原妹紅

101号室の住人。大家さんのおかげで藤原さんと住む事になってしまった不運な女の子。
おっぱい大きい。



藤原くん

博麗アパート101号室に越してきた学生。



博麗 霊夢

博麗アパートの大家さん。基本的に
お金の話にしか興味がない。
一番嫌いな言葉は「家賃滞納」。



上白沢 慧音

学校の先生。厳しいところもあるが、校外では意外とルーズ。
作中で一番の巨乳。

～前回までのあらすじ～

■第1話 藤原くんと藤原さん

大家さんの勘違いのせいで同じ部屋に住むことになった妹紅と藤原くん。
大家さんに逆らえないらしい妹紅の説得により、藤原くんもなくなりました承する。

■第2話 トイレでぎゅっぎゅ

部屋のトイレが壊れたので原因を調べていると輝夜が登場。
とっさに隠れたトイレで二人は初体験。だが輝夜は二人の关系到気付いていた。

■第3話 乙女心は繊細で

藤原くんの転入初日。なんとか二人の関係を壊したい輝夜は妹紅にあらぬ噂を教える。
不安を抱えた妹紅を藤原は優しく抱きしめる。

■第4話 海と水着と大家さんと

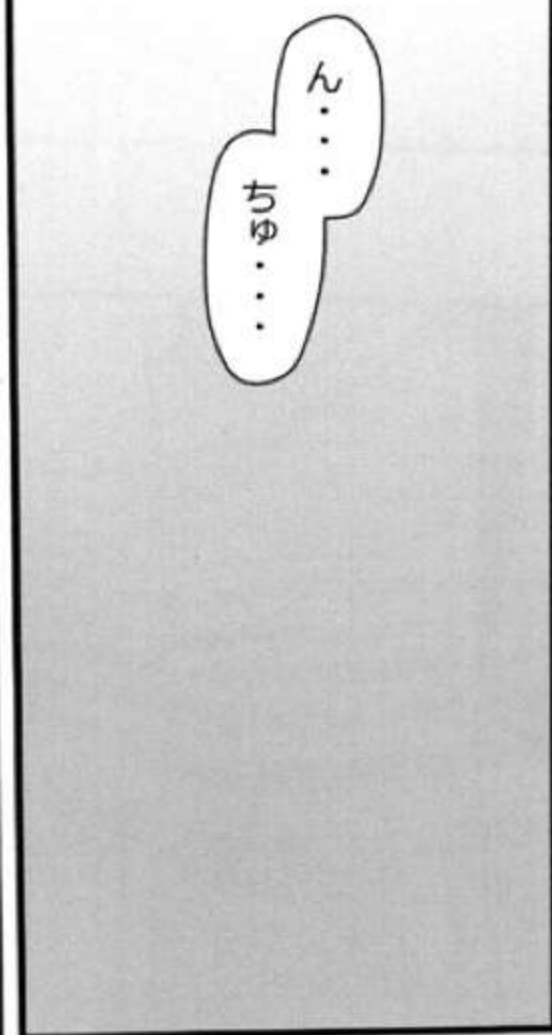
輝夜が水着で藤原くんを落とそうとするも失敗。大家さんが冗談で口説くも失敗。
妹紅と藤原くんは人気のない場所で抱き合う。



ちゅもも

ちゅちゅちゅちゅ

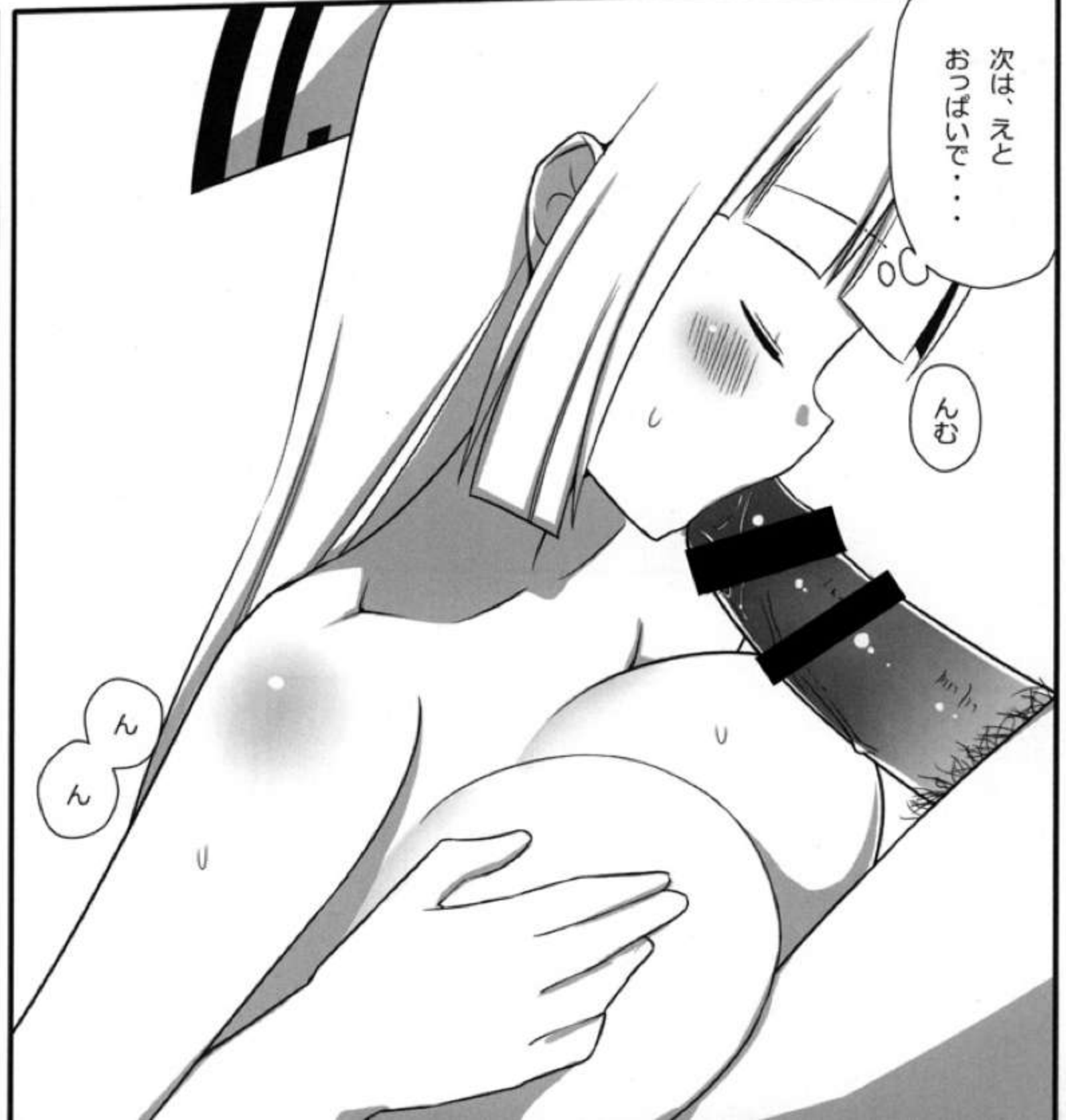
第6話 現実



私に任せてね...?

あ、ああ...







んん♡

ぽ

ん

あッ
それやば……

ん

ん



う

も……

……んんんん……



……んんんん……

んんんんん

んん



妹紅のおっぱい……
妹紅のおっぱいがああッ

んんん

んんん
気持ちいいん



んはっ...

とっ!!

ちよ...多すぎ...

っ!!

!!



もっ
妹紅っ...



そんなもの無理に
飲まなくても...

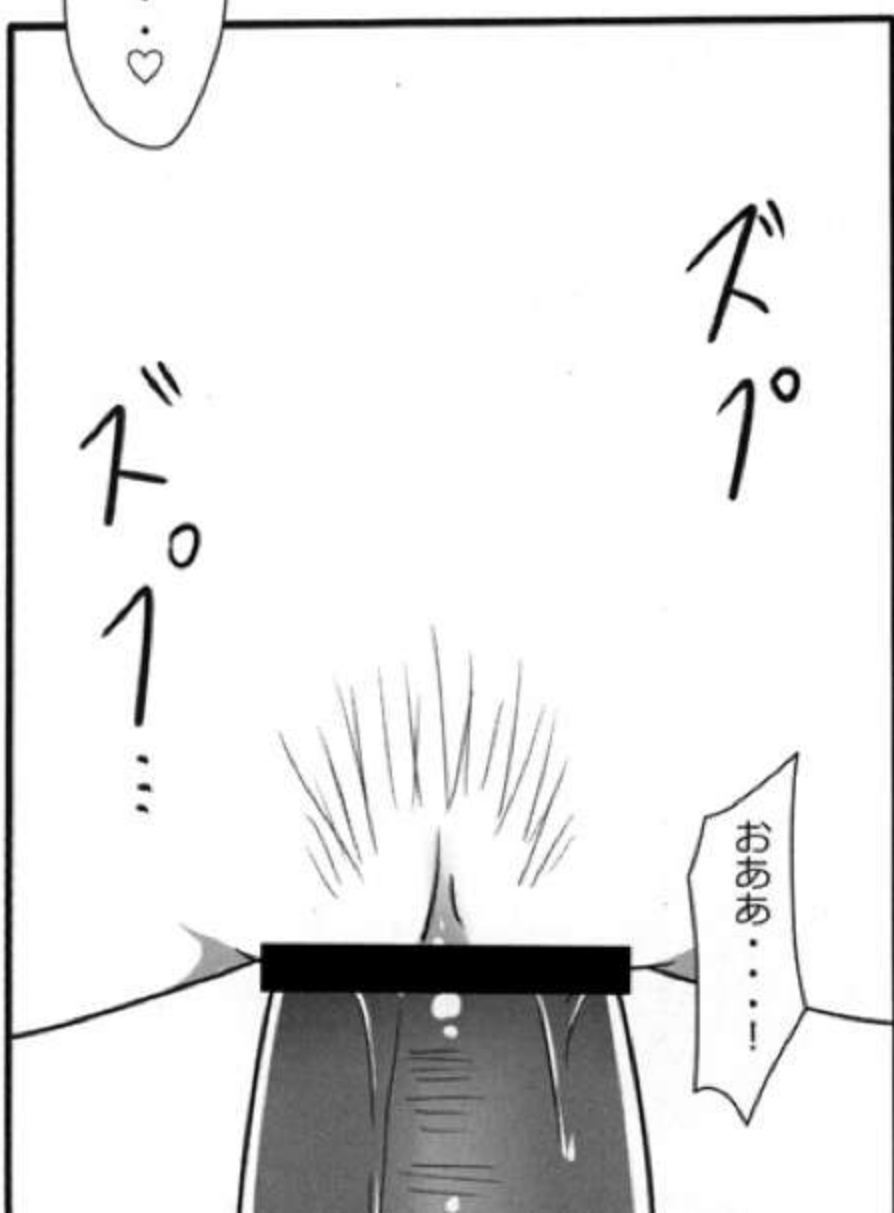
...んく...



お前が出してくれたもの
全部受け止めたいもん...

や...

!!





あ・・・
ほこりおかし・・・♡

お・・・
奥まで入っ・・・♡



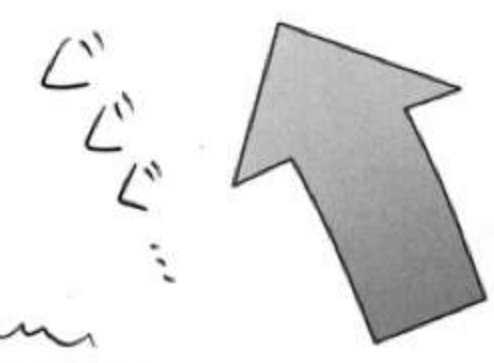
なんか、お腹
いっぱい感じてする

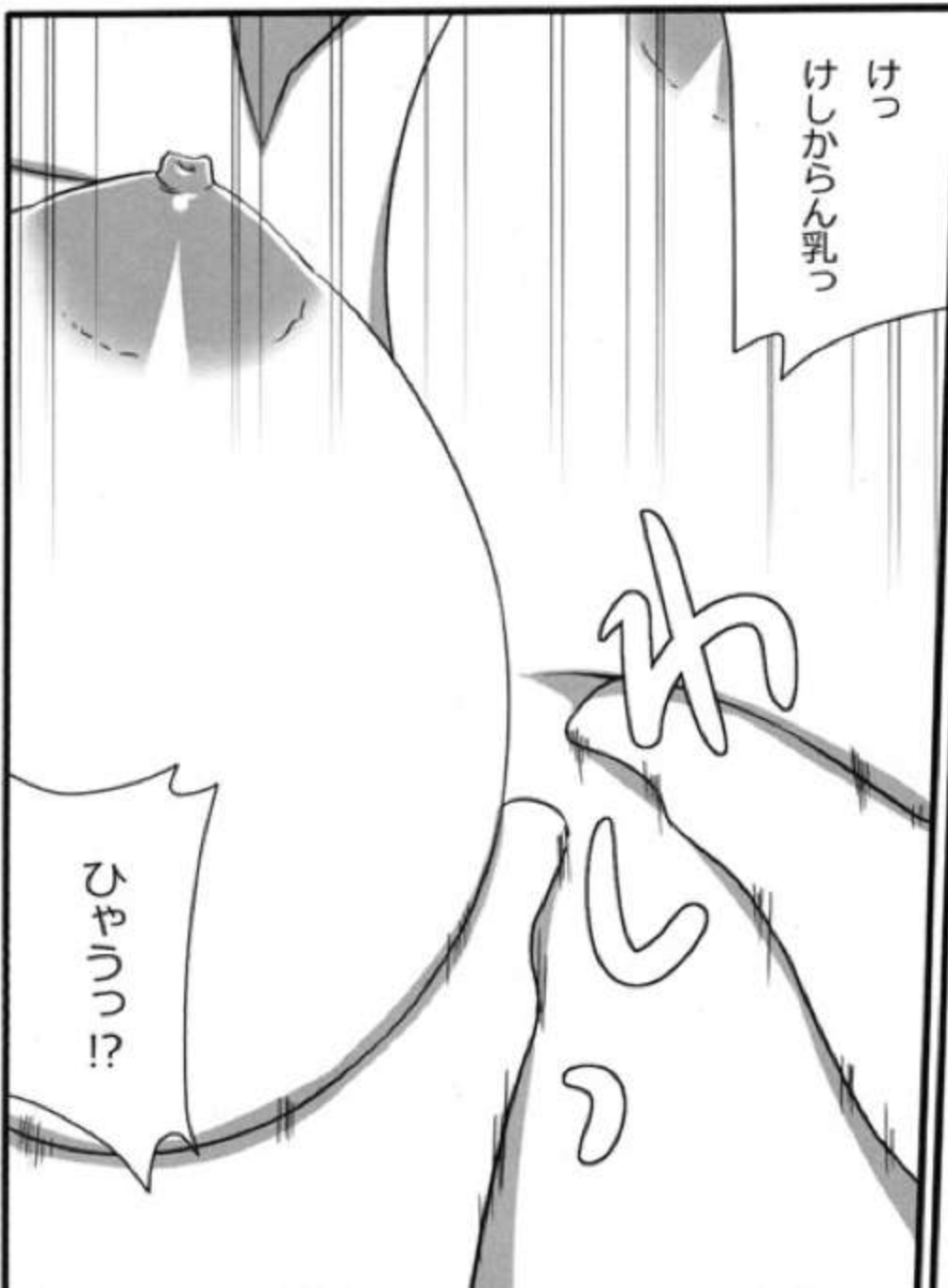
じゃあ動くな・・・
ん・・・

ふふ・・・♡

くああ・・・

あ・・・
あ・・・♡







おっおっおっ
おっおっおっおっおっおっ

おっおっ

おっ

おっおっ



おっ

おっおっおっおっ

おっおっ

おっおっ

おっ
おん

おっお

おっおっおっ...



お前の...

ズ
ゾ

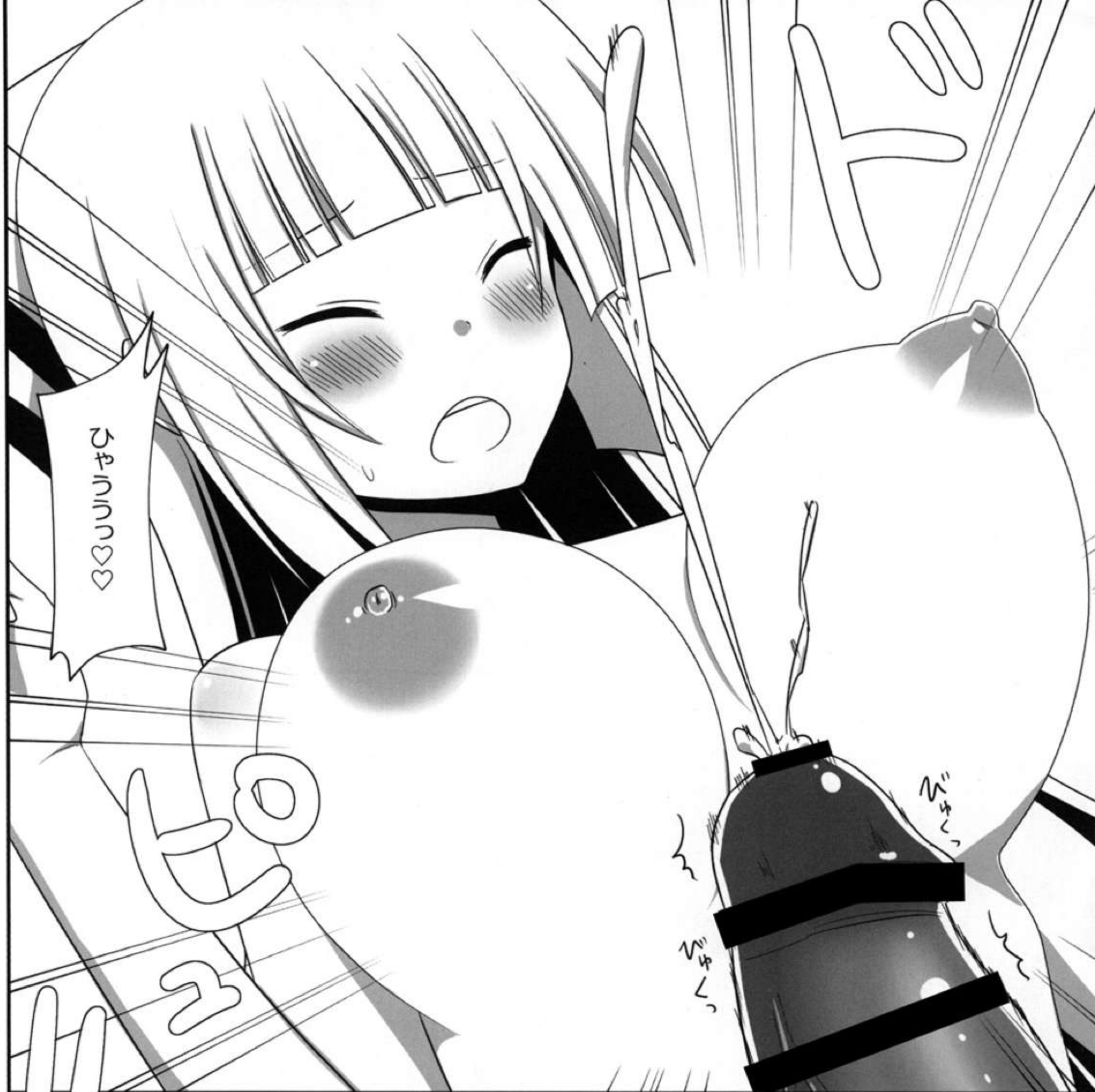
ズ
ゾ

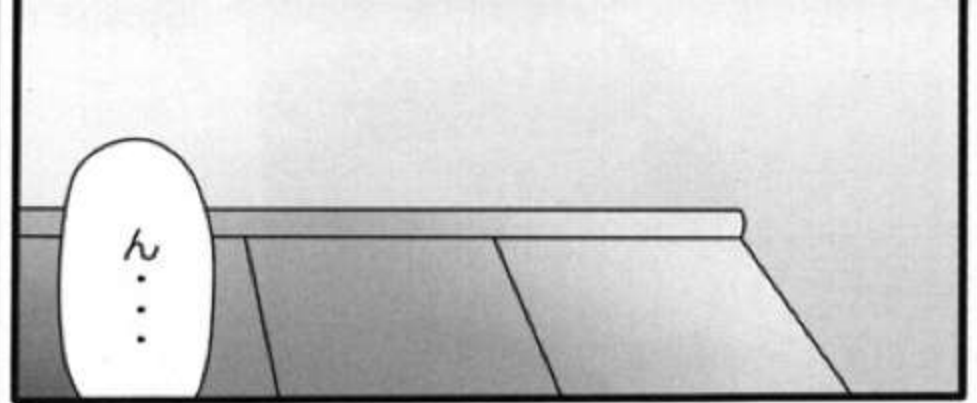
ズ
ゾ

お前の子種
全部出してえっ♡

ズ
ゾ

ズ
ゾ





ん...



朝か...
ねむ

おくり

...



...可愛い寝顔だな
ほんと

...は...は...

今日は日曜だしこのまま寝かせておいてやるか...



さつと

「ハニシ」...

「バンタビ」

あら

藤原君じゃない



あ、ええと...
蓬萊山さん...?

かたい呼び方だな...

輝夜...いや
輝夜様でいいよ

え



じゃ...じゃあ
輝夜さんで

んむっ

なんだよ
つまらん...

輝夜さんはいいで
何をしてるんだ？



ひなたぼっこ

外の方が空気が
美味しいんだよ

それより...

まさかもこたんを
泣かせたりしてないだろうな？



ついでに...
ついでに...
全くそいつの事はし

...まあ
あれだ



お前がもこたんと別れようが
別れまいが知ったこっちゃないが

いやむしろ
別れてほしいが



もし悲しむのはいい事をしてたの
ほんとに許さないからな

...ああ

いや...待てよ...
悲しんでるもこたんを
私がなくさめて...？

か、
輝夜さん...

ん？

あれは...
大家さん



と...





藤原、お前には

この部屋を
出ていってあげる

……え？

な……

何を……

言葉のままの意味だ
よく今まで隠せていたものだ

理解できない
とちいわねえな

いつかこうなる事は
わかってたけど……

まさかこんなに早く……

藤原





あ、えっと……

か、輝夜さん……？

きせしー！

クチャッ



一つ教えて
ほしいんですが……

輝夜さんっ

そ、そのっ、あれだよっ
決して盗み聞きしてたとか
そういうんじゃない……

おこもる
きゃっきやうふいふ

最終話 またこの場所から



悪く思わなぐでくれ

……私たち

だが……教師という立場で
ある以上、この事実を無視する
ことはできない

……話しは全て
大家さんから聞いている

今回の件については
君たちに何の責任もない

私たちは・・・一緒に住んでても別に問題なんか・・・



無いとは思えない

もし仮に
そうだとしても

同衾など認める
訳にはいかん

他の生徒にも
示しがつかんしな



それに・・・

君たちはまだ
学生なんだ

妹紅・・・
これも全てお前たちのため・・・
とは言わないが、お前も子供じゃない

理解はできるはずだ



・・・一つ、教えてください・・・

何だ？

先生はどうして
私たちの事・・・知ってたんですか？

・・・そのことだが



悪いとは思ったが
君たちのことを調べさせてもらった

本人を目の前に失礼だとは思うが
あまり社交的ではない妹紅が
転入生と初日から仲が良かった

・・・まずそいつ
疑問を持った

そして次に藤原の住所が
博麗アパート・・・と書かれている
だけで不鮮明だった

藤原が越してくる以前に
ここは学生で満室だったはず

そこで大家さんに聞いた結果・・・
今回の件が発覚した、という訳だ

わかってもらえたか？

やだ・・・やだよんなの・・・
藤原・・・

悪かったわ妹紅
今回のことは全て
私に責任がある

あ、いえ
そんな・・・

藤原。。。。！



・・・もうこんな時間か

すっかり長居
してしまっとな

今できる話は
こんなところ

本人がいない事には
どうにもならん

それでは
そろそろ・・・

ええ

うーそ...

妹紅

藤原が帰ってきたら
今の話を伝えておいてくれ

明日の放課後にまた
話の続きをする

・・・

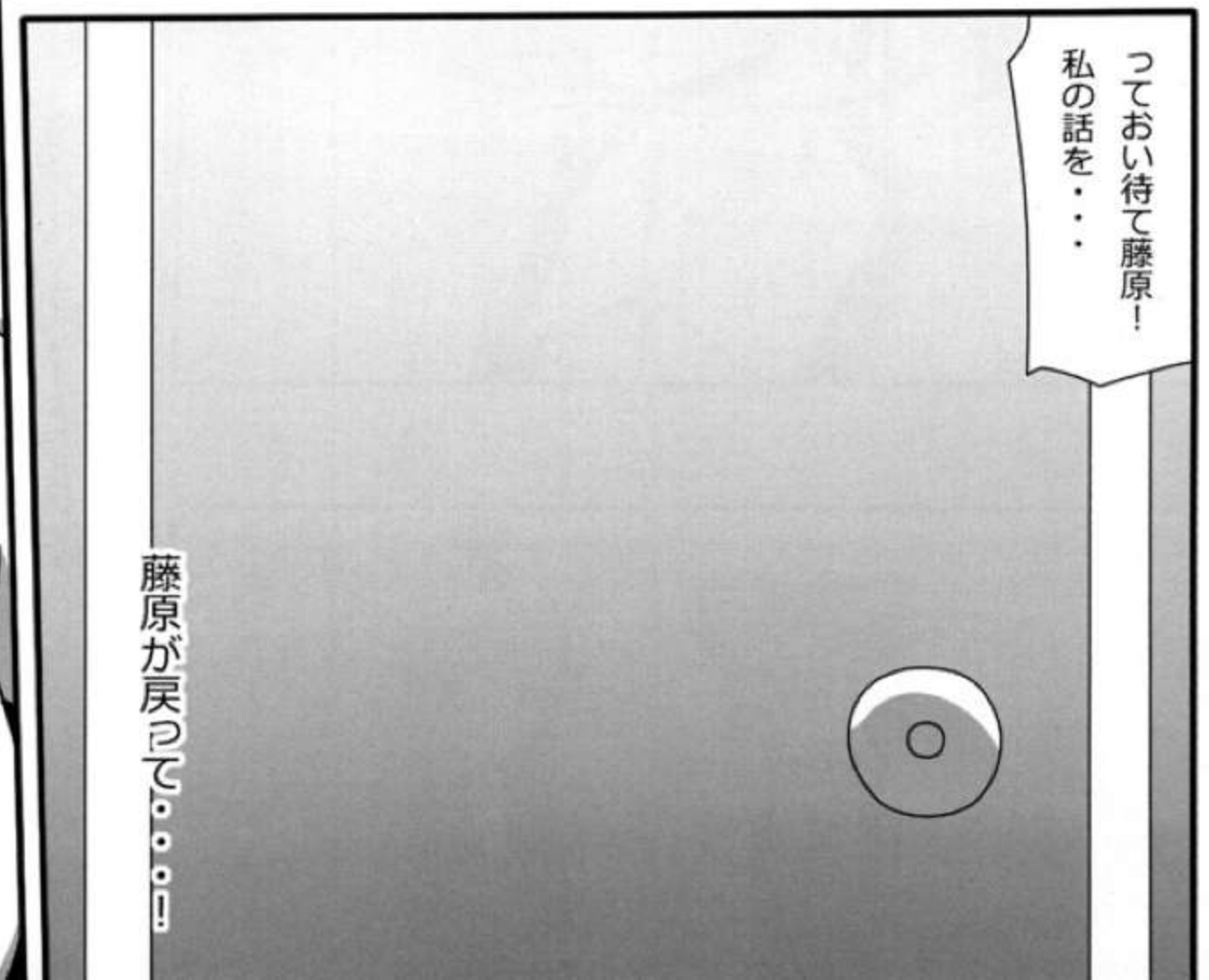
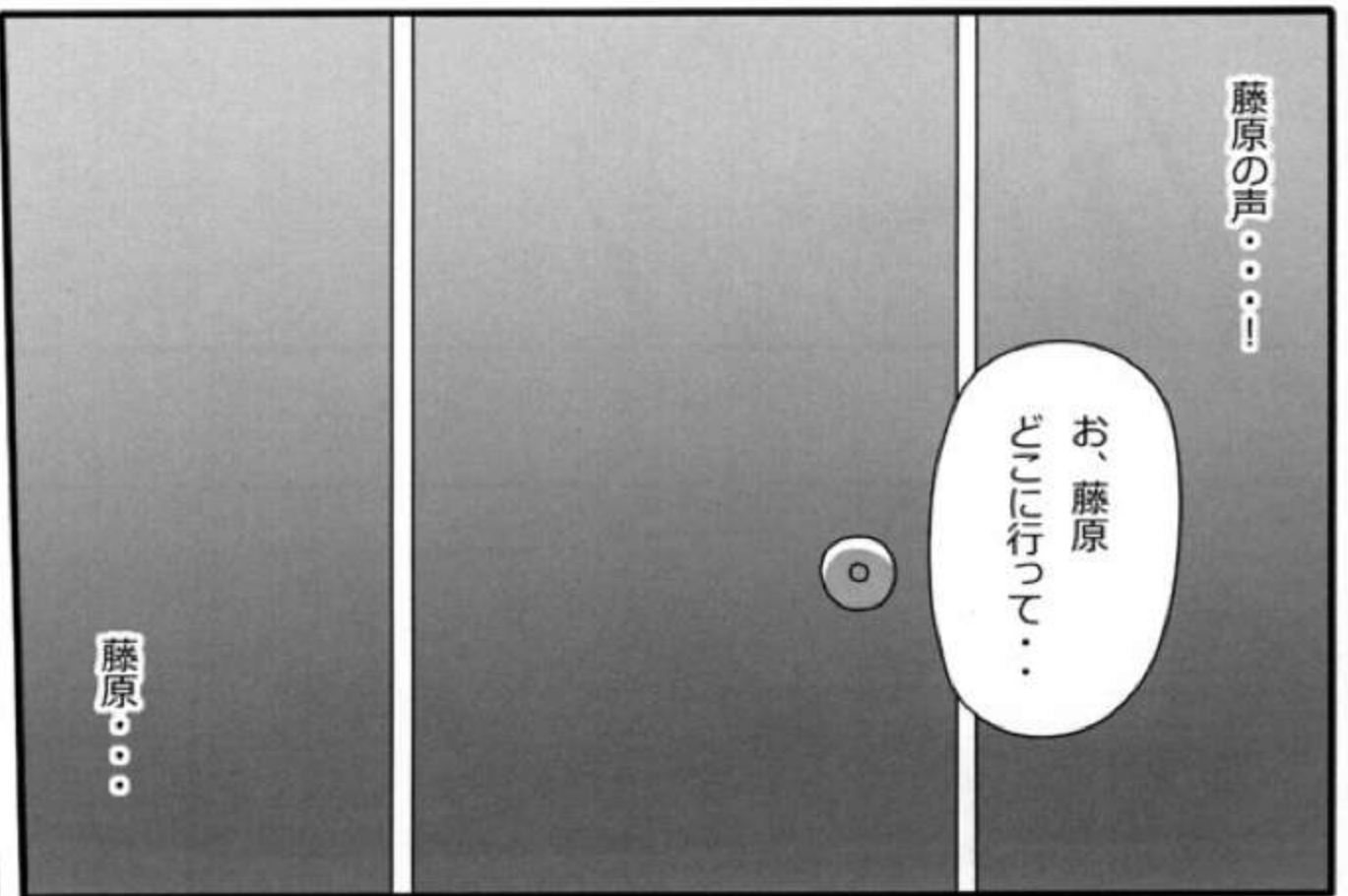
・・・別に、住む場所が変わるだけで
学校ではいつでも会えるんだ

そつ気を落とすな

・・・はい・・・

「アムン」

そつだ・・・学校に行けば
いつでも会える・・・でも・・・









黒コゲ卵焼きを作ってくれ!



おおお……

どキ

……は……え……?

式は学校を卒業してからになっちゃうけど……

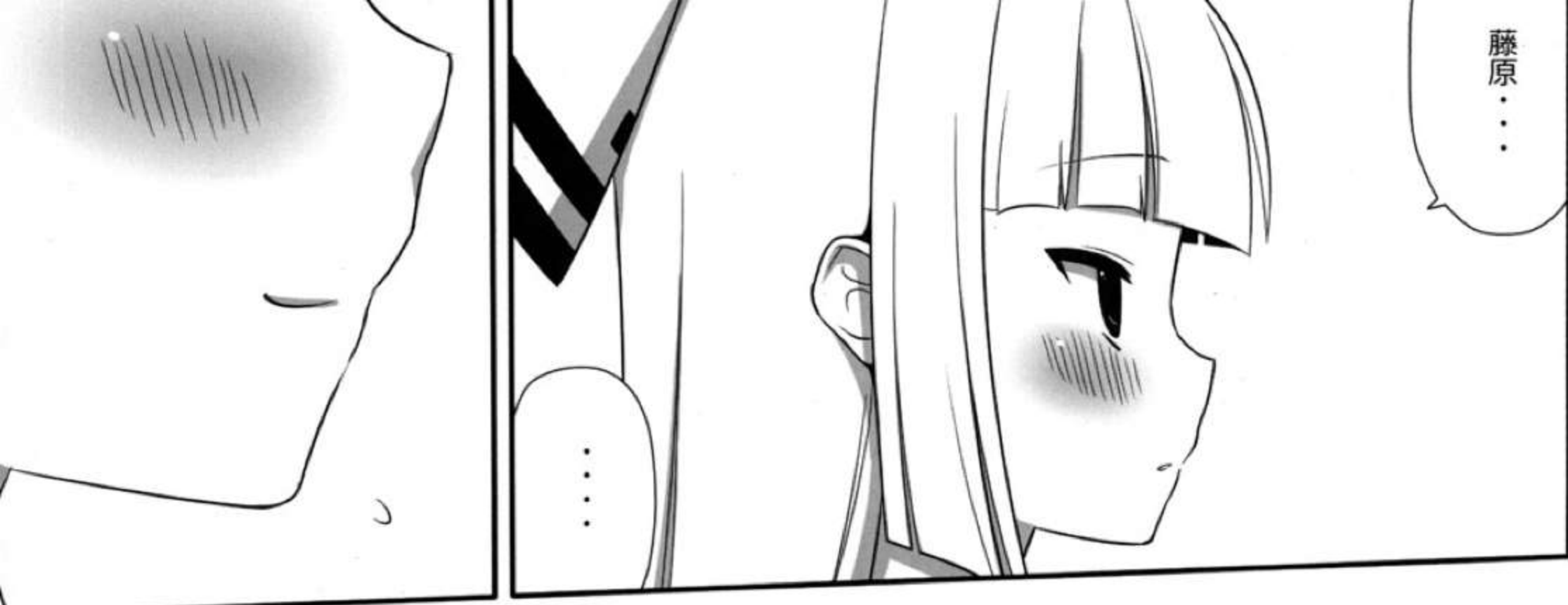


え……そ、それって……

……俺と、結婚してほしい


あ……!

藤原...



お前みたいな変態
放っておくと何しでかすか
わかったもんじゃないから...





しょうがないから
そばにいらしてねえよ

藤原

妹紅……

唐突に何を聞かれる
と思ったら……



なるほどね……



ん……

ぬ、



輝夜……？

その指輪のサイズ
教えてあげたの私なんだから

え？あ……
そういえばぴったり……



でも何で私の指輪の
サイズなんか……？

ふふ、もこたんの事なら
何でも知ってるわよ♡

そ、そか……

にしても



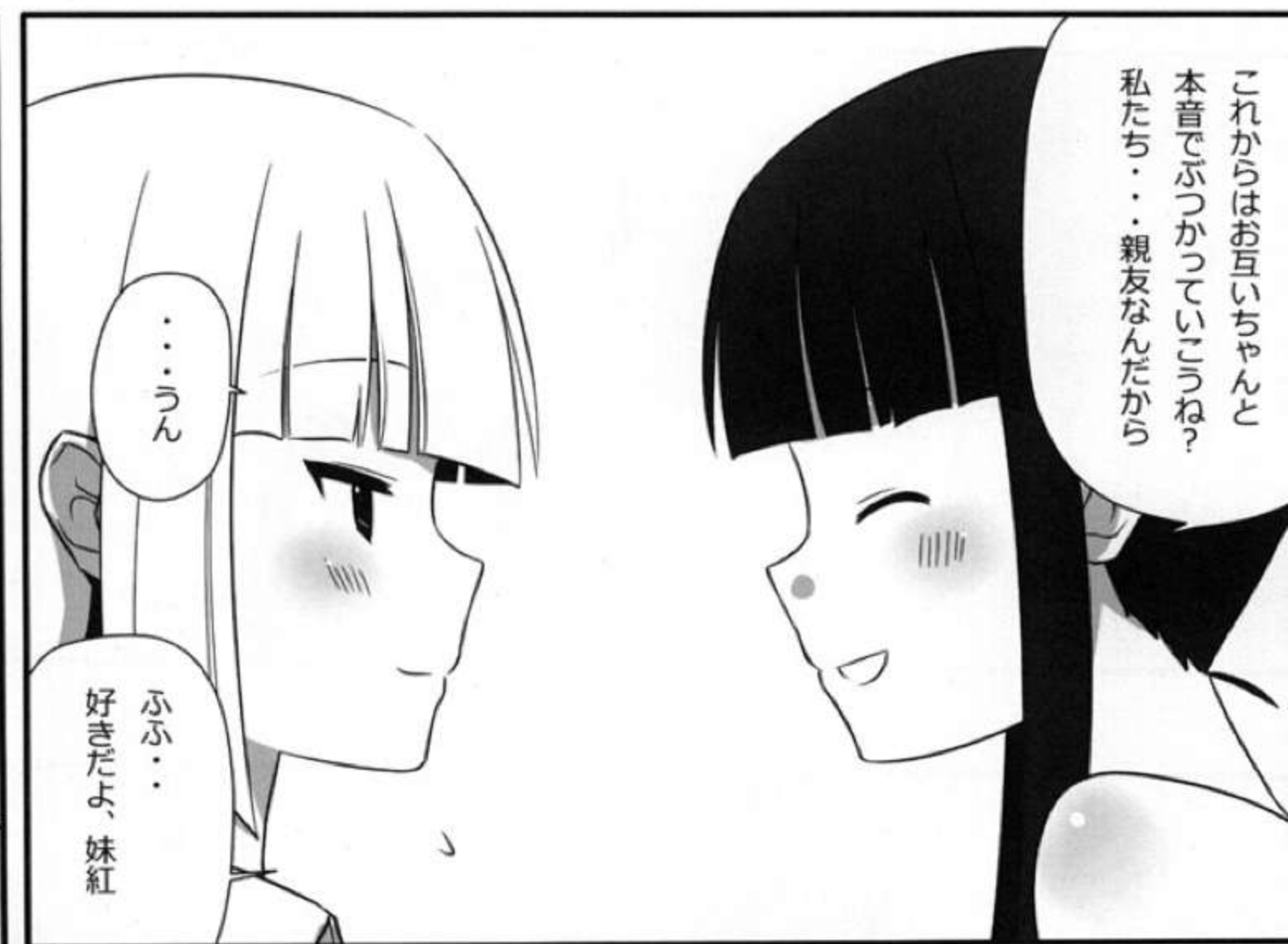
退室を強制されて
いきなり飛び出してきた
と思ったら

こんな大胆な
行動に出るなんて



なかなか格好いい
ところあるじゃん

か、輝夜……？





僕たちは婚約者です
だから……

僕たちの同衾
認めて頂けないでしょうか？



駄目だ

……なぜ

な……



何がどうあれ
学生同士の……

ましてや異性の同衾など
認める訳にはいかない

仮に同衾していたら、の話だ



先生！
どうして……！

まあ待て
そう熱くなるな

……え？

私はそんな事実は知らないし
まったく記憶にない

っ……

あ……！

記憶にございませぬ……ですか
悪い大人の台詞ですね

何の話しかな？

先生……
ありがとうございます……！

やめひやめひ
感謝されるような事を
した覚えはないぞ

それより……

婚約おめでとうだ二人とも
まさか目の前で告白シーンを
見せられるとは思わなかったぞ

ふ……やはりお前は
面白い奴だな藤原

もこたんを泣かせたら
許さんからな

……ね、覚えてる？

ん、妹紅？

私たちが初めて出会った
時のこと……

……ああ



あの時も確か
今と同じ場所で...

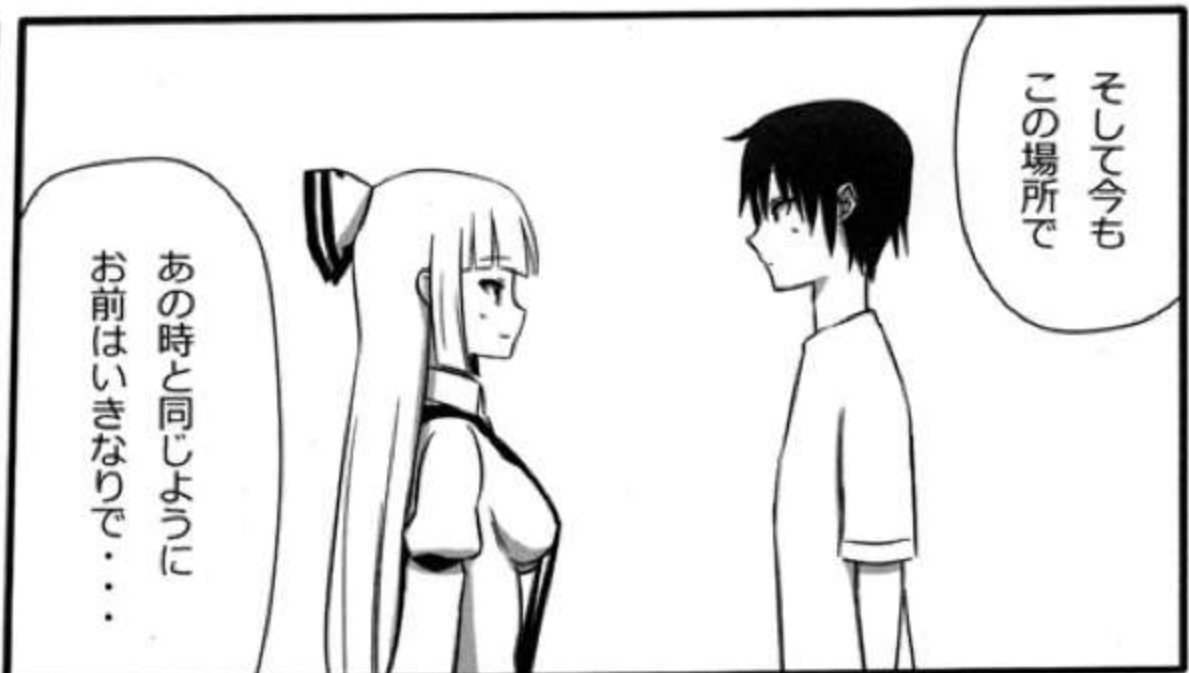
不可抗力で
ロマンも何もないキス...

でも
あれが私たちの始まりだった



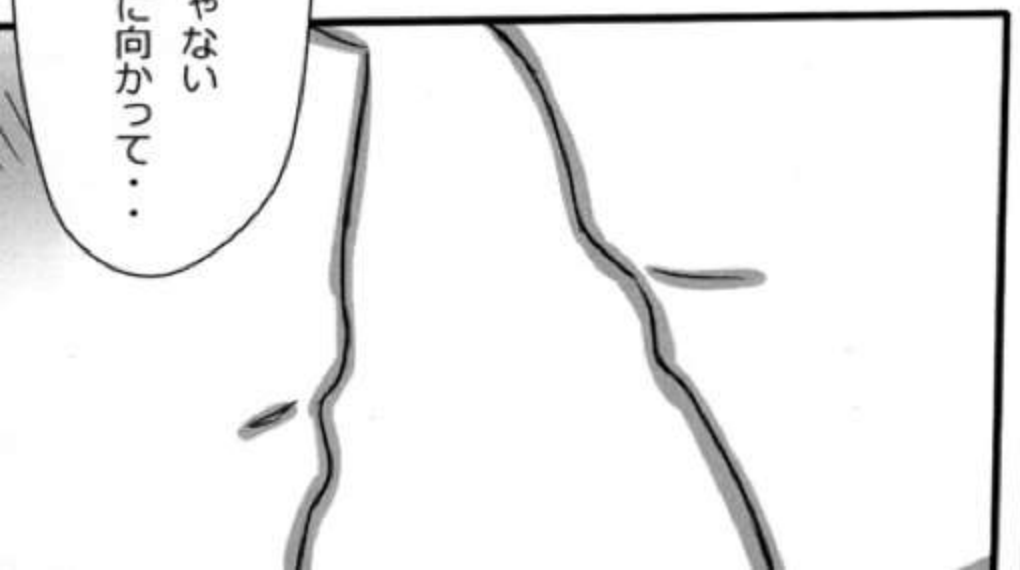
...ね、まだ「」が
始めよ...

...ああ



そして今も
この場所で

あの時と同じように
お前はいきなりで...

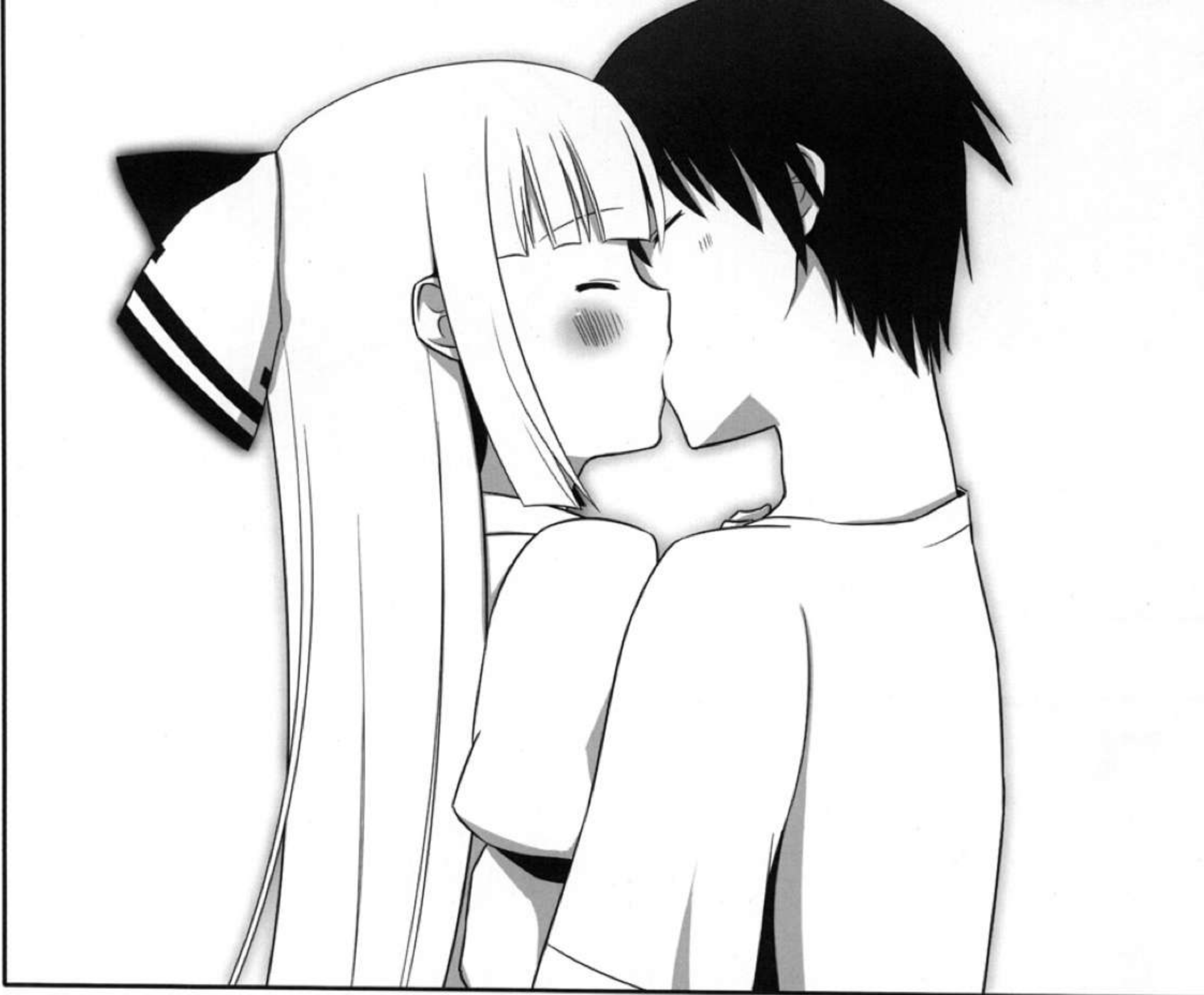


今度は不可抗力なんかじゃない
俺たちが選んだこれからに向かって...



...お前にはいつも
驚かされてばかりだな

変態でどうしようもなくて...
でもいつだって私に元気をくれる





想
な
あ

この度は「もこもこきゃっきやうふふ3」を手にとってくださいありがとうございました。
拙い作品ではございましたが、もし少しでも楽しんで頂けたのであれば、これ以上の喜びはありません。

2巻で「次回も2話収録」と言いつつ、頑張って3話収録しました。
本来は2話でまとまっていたのですが「エ、エロがない…」という事態に陥ってしまったので、
なんとか中にぶち込みました。(二つの意味で)
ページの割にエロが少ないのは反省点ですね…その点は、次回以降に活かしていきたいです。

次回東方で連作を作るならパチュリーかな…。あ、いえ、やはり予定は未定ということで…。
にしてもぱっつんキャラ好きだな、僕…。

3巻のみを読んで頂いた方も、1巻から読んで頂いてる方も本当にありがとうございました。
これからも、あふれ出す妄想を同人活動にぶつけていきたいと思います。

それではまた次の本で会いましょう!もこたんインしたいお!

7センチ 名瀬



奥付

「もこもこきゃっきやうふふ3」

発行日 2011年3月13日

著者 名瀬

サークル 7センチ

題字・ゲスト 根室なお様

印刷 ねこのしっぽ様

サークルHP

<http://myamosan.ohitashi.com/>

メール

no-dance_no-life@hotmail.co.jp



サークルフロント